

「医師事務作業補助者」募集

医療職の
免許がなくて
もできます

あなたの力が社会を救う

医療チームの一員として活躍する人材を
全国の医療機関が求めています。

経験がなくても大丈夫

キャリアアップできる

医師のサポートをする仕事

医療チームの一員として活躍



あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています
【PR動画 医師事務作業補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=1b2zQ5rdBj0>



厚生労働省

医療専門職支援人材確保・定着支援事業

『医師事務作業補助者』とは

医師が行う業務のうち、事務的な業務をサポートする職種です。

医師事務作業補助者の名称は医療機関によって「医療秘書」や「医療クラーク」「メディカルアシスタント」「ドクターズクラーク」などさまざまです。

1 医療現場で医師事務作業補助者が求められている背景

医師の業務負担の大きさが長年問題視され、医療の質の担保が重要課題とされています。医師が行っている事務業務の負担を軽減し、診療業務に専念できる環境を作り、医療の質を向上させることを目的として医師事務作業補助者が誕生しました。現在、国が推進する医師の働き方改革において、医師事務作業補助者は欠かせない存在となっています。

2 お仕事内容

業務内容は大きく分けると4つあります。

- ① 診断書や紹介状などの「医療文書の代行作成」
- ② 医師の外来診察や病棟回診などに同席して行う「診療記録の代行入力」
- ③ 院内での会議の準備、手術の症例登録
- ④ 厚生労働省などに報告する診療データの整理

注) 医師事務作業補助者の業務は多岐にわたり、実際の業務は病院ごとの実情によって特色のあるものになっています。

3 医師事務作業補助者になるためには

医師事務作業補助者になるために必要な免許や経験などは、特にありません（複数の民間団体が行う認定試験などがありますが、必須要件ではありません）。そのため、様々な背景の実務者が一緒に働いているのもこの職種の特徴といえます。教育背景や経験よりも、むしろ医師や他の医療スタッフ（看護師や薬剤師など）や事務職員との連絡・調整が頻繁に発生しますので、これらの職種と上手く関係を築くことができる「コミュニケーション力」が何よりも求められる能力といえるでしょう。

Q&A

Q.なぜこの仕事を選びましたか？



A.ハローワークで医師事務作業補助者という職種を知りました。資格がなくても医師の近くで働き医療スタッフをサポートできるところに魅力を感じたのがきっかけです。

Q.実際にどんな事をやっていますか？



A.診察室内で医師の隣で電子カルテの代行入力をしたり、医師が診察した後に診断書などの書類の下書きをしたりしています。ほかにも院内での会議の資料を作成することもあります。

Q.楽しいと思う瞬間は？



A.一般的な事務のイメージとは違い、医師や看護師とコミュニケーションを取りながら仕事をしています。スタッフから『居てくれて助かるよ』の言葉にはいつも助けられます。

Q.やりがいを感じる場所は？



A.患者さんや医師たちとの架け橋となることで、皆の業務が円滑に進むと、私もチーム医療の一員なんだと感じることができて、また頑張ろうと思えます。

あなたにもできる！

病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています

【PR動画 医師事務作業補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel

<https://www.youtube.com/watch?v=1b2zQ5rdBj0>



厚生労働省

医療専門職支援人材確保・定着支援事業